

（一社）宇都宮工業団地総合管理協会における健康増進への取組について

（一社）宇都宮工業団地総合管理協会については、工業団地や会員企業の持続的な発展に向け様々な取組を実施している。

今回のテーマである「健康増進」については、会員企業のうち31社からなる「安全衛生委員会」を中心に、従業員の健康づくりや安全かつ快適な職場づくりなどの研修活動を毎年実施している。

こうした中、昨年度、最新の知識・技術・トレンドなどの基礎知識等の習得はもとより、緊急時でも的確に対応できるなど、各企業において適切・的確に対応できるよう、到達目標や研修内容、実施手法等、「研修の基本的な考え方」を改めて整理・徹底した。

実際の研修については、令和4年度はコロナ禍であり、実践形式のKYT研修はグループワークが主であるためを中止せざるを得なかったが、それ以外についてはオンラインにて研修を実施した。参加者からの反応としては、「テーマがタイムリー。自席で受講できるため、参加しやすい」とのご意見をいただくなど、非常に好評であった。また、大型スクリーンに投影し、複数人で受講するなど、工夫をされた企業もあった。

このような研修事業は、繰り返し、繰り返し実施することにより、よりたくさん企業の企業が、より深い知識を得るものと考えていることから、今年度についても引き続き実施するとともに、コロナ禍のため、ここ3年間実施できていない自社や他社との交流を深めながら健康づくりにも寄与する福利厚生事業（各種スポーツ大会）と併せて開催し、もって会員企業の持続的発展につなげていく。

作成：宇都宮工業団地総合管理協会（令和5年8月）

